

## 《 浅草寿地区町会連合会 》

日時：11月8日（金） 午後4時から（会 場：寿区民館）

### ◇東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて

質問	回答	対応
<p>来年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、その機運は日に日に高まっております。</p> <p>私たちは当初、わが浅草寿地区にあります江戸通りがマラソンコースの一部となるということで、コース周辺の町並みなどが各国で放映されるチャンスであると、大いに期待しておりました。</p> <p>しかし、マラソンコースが札幌に変更となってしまう、残念に思っております。</p> <p>オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、区としてどのように盛り上げていかれるのかを具体的にお伺いしたいと思います。</p>	<p>区ではこれまでも、東京2020大会の開催に向けて、道路の遮熱性舗装や「花の心プロジェクト」では朝顔の形の竹で作った大きいオブジェを設置するなど、様々な取り組みを進めてまいりました。</p> <p>残念ながら、オリンピックのマラソン競技会場は札幌に変更となってしまいましたが、パラリンピックのマラソンは予定通り東京で開催されますし、台東区には観光客も大勢お越しいただいておりますので、おもてなしの心で多くの方をお迎えができるよう、引き続き「花の心プロジェクト」も推進しながら、様々な取り組みを進めてまいります。</p>	<p>○</p>

◇町会事業の将来展望について

質問	回答	対応
<p>台東区の人口が20万人を超えたことは喜ばしいことですが、20年後には人口も約1割の増加が予想され、単純計算すると約2万人で1町会あたり100人の増加となります。</p> <p>近年、多くの町会で住環境の変化や人口構成の急激な変化、居住者以外の流入人口に戸惑いを感じていると思います。</p> <p>その中、町会の運営や事業展開を行っている町会役員の負担も増加してきていると思います。特に、役員の高齢化と若い世代の成り手の減少は多くの町会が抱えている問題ではないかと考えます。人口の増加に伴う町会の仕事量の増加にどの程度対応できるのか心配です。</p> <p>町会事業のこれからの変化について、どのようにサポートしていただけるのか、お聞きいたします。</p>	<p>町会役員の高齢化や役員後継者の不在、集合住宅居住者が町会に加入していただけないなど、町会運営や活動に対する様々な課題があることは私も認識しています。</p> <p>そこで、区では町会の現状を把握するとともに、今後の地域の活性化や協働のあり方について検討するため、先月、「町会活動に関する意識調査」を実施しました。</p> <p>現在、調査票の集計を行っているところで、まとまり次第皆さまにもご報告をさせていただきます。</p> <p>今後も、町会活動や町会運営に関する課題解決のための施策の検討を積極的に行ってまいりますので、ご協力をお願いいたします。</p>	<p>☆</p>

◇台東区の文化活動の発展について

質問	回答	対応
<p>台東区は、文化的な施設や音楽学校が2校あるなど、文化的な環境としては非常に充実しており、素晴らしい環境にあると思っています。</p> <p>区では様々な文化事業を実施していただいていると思いますが、文化発信の活発さに関しては少し遅れているように感じています。</p> <p>台東区の文化事業を更に活発に進めていただきたいと思っていますが、区長の見解をお聞きかせください。</p>	<p>台東区には素晴らしい施設がたくさんありますし、このように文化的に恵まれた環境は、他にはないと思います。</p> <p>区では、この恵まれた環境を活かし、「台東第九公演」や「江戸まちたいとう芸楽祭」の実施、平成29年からは「台東区長賞」を美術分野に加えて音楽分野でも新たに設立するなど、様々な文化・芸術事業に取り組んでいます。また、台東区芸術文化財団では、鑑賞機会の提供や、地域の皆さまが参加できるイベント等も多数実施しています。</p> <p>今後も、より多くの方に文化や芸術に親しんでいただき、そして発展させていくことが区の文化振興にとっても大事なことだと思っていますので、更に充実するように取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇専用道の利用マナーについて

質問	回答	対応
<p>自転車専用道が設置されてから数年経ちますが、利用におけるマナーの悪さについて危惧しています。</p> <p>例えば、自転車専用道があるにも関わらず、自転車が歩行者専用道を通行するケースが多く見られ、歩行者と接触事故を起こす危険性が生じています。また、逆に、歩行者が自転車専用道内を歩行したり、住民の出したゴミにより自転車の通行に支障をきたしている場合もあります。</p> <p>専用道の明確な区分表示や、利用ルールについての徹底した周知・指導などを、警察等の関係機関と連携し、区として対応をしていただきたいです。</p>	<p>区では、自転車利用のルールやマナーの普及・啓発に取り組んでいますが、さらに徹底するよう努めてまいります。また、「自転車ナビマーク・ナビライン」上の車の駐停車については、警察と連携して対応してまいります。</p> <p>自転車は、被害者になると同時に加害者になってしまう場合もありますので、区では自転車向け保険「TSマーク」の取得を促進しており、取得費用の助成を行っています。</p> <p>これまで、助成手続きは区役所のみでしたが、まもなく区民事務所でも手続きが可能となります。</p> <p>今後も、警察や関係機関と連携し、自転車及び歩行者の安全かつ快適な交通環境の整備に努めてまいります。</p> <p>※令和2年1月6日から、自転車向け保険「TSマーク」の取得費用の助成手続きが各区民事務所及び各分室でも可能となりました。（交通対策課）</p>	<p>—</p>

### ◇街のポイ捨て禁止について

質問	回答	対応
<p>インバウンドの増加に伴い、外国人の姿があたりまえのように見受けられます。そのため、たばこやゴミのポイ捨てが多く目立ち、街をきれいにする看板、チラシの配布、タバコ灰皿の表示などを、外国人に分かるような多言語によるモラルの説明が必要だと思えます。</p> <p>また、台東区は宿泊事業者と「安全・安心パートナーシップ事業」に関する協定を締結したと伺いました。</p> <p>台東区はきれいな街づくりをしているという意思表示を、住人ばかりでなく旅行者にも知らせる必要があると思えます。</p> <p>そこで、多言語で書かれたパンフレットなどを宿泊事業者の受付などに置いてもらうということはいかがでしょうか。</p>	<p>平成30年の訪日外国人数は約3,000万人で、台東区を訪れた外国人観光客数は約950万人なので、約3割の方が台東区を訪れているということになります。また、国では、外国人観光客数の目標を2020年には4,000万人、2030年には6,000万人としており、今後も台東区を訪れる観光客数は増加が予想されますので、引き続き、受け入れ環境の整備を進めていく必要があります。</p> <p>区でも、ポイ捨て防止等のマナー啓発については、台東区ホテル旅館協会等を通じて啓発リーフレットを配布したり、商店街ごとに個別対応を実施したりと、いろいろと取り組んでいます。</p> <p>まちの美化活動として、地域の皆さまや「大江戸清掃隊」にもご協力をいただき、清掃活動に取り組んでいます。今後もきれいなまちづくりのための取り組みを進めてまいります。</p>	—

### ◇電柱の地中化について

質問	回答	対応
<p>昨今の台風15号や19号の被害でも分かるとおり、想定外の雨や風速が測定されました。</p> <p>これからは地球温暖化が進んでいき、想定外のことが多く起こると予想され、そのようなときに地中化をしていないということは非常に残念に思っています。</p> <p>台東区では、20年ほど前から地中化の話は出ているということですが、20年間の実績と現在どのような計画で進んでいるのかを教えてください。</p>	<p>無電柱化は防災面から考えても重要だと、私も思っています。区内の都道はほぼ無電柱化は完了していますが、区道はあまり地中化されていません。最近の実績では、馬道通りが平成24年から28年までの5年間で工事を実施し、地中化が完了しました。また、かっぱ橋本通りは平成23年から31年までの9年間かかり、調査を含めると10年以上かかっています。無電柱化は、工事期間が長期間になることや道路の幅員の問題、夜間工事の際の工事の音など、様々な課題があります。</p> <p>台東区は観光地ですから、防災面に加え、景観の面から考えても必要だと思えますので、今後も、地域の皆さまと相談しながら、無電柱化を進めてまいります。</p>	△

## ◇放置自転車について

質問	回答	対応
<p>田原町駅周辺の放置自転車が多く、毎日同じ人が何十人と、当たり前のように置いていきます。</p> <p>月に1度ぐらい撤去していますが、撤去は数台のみで、ほとんどの自転車は夜に家に戻ったときに札を外し、また翌朝には堂々と自転車を置いていきます。</p> <p>そのような自転車を撤去することはできないのでしょうか。</p> <p>また、自転車専用道にも堂々と停められており、駐輪場のようになっています。自転車専用道の管理を徹底し、絶対に自転車を置かせないようにしてほしいです。</p> <p>目の不自由な方などには特に危険ですので、もっと強制的に撤去するなどして、放置自転車を無くしてほしいです。</p>	<p>放置自転車が歩行者の妨げになることは、安全・安心の面から考えても良くないので、しっかりとやっていく必要があると思っています。</p> <p>現在、田原町駅周辺には駐輪場が無いので「指導整理区域」に指定することができないため、即日撤去という対応ができず、放置自転車が多くなってしまっています。区としても、駐輪場用地を探していますが、場所を確保することが難しいという状況です。</p> <p>今後も、「レンタサイクル」や「シェアサイクル」など、放置自転車を減らすための取り組みを進めてまいります。</p> <p><b>【都市づくり部長】</b></p> <p>区では、自転車を共有する「シェアサイクル」等の事業に取り組み、自転車の総量を減らすよう努めています。また、用地を提供していただければ無料でポートを整備させていただくなどの取り組みも行っています。今日いただいたご意見は、担当や道路を管理している東京都にもお伝えいたします。</p>	<p>△</p>